

糖尿病診療－最新の動向

－医師・医療スタッフ向け研修講座－

国立国際医療研究センターでは糖尿病診療に従事されている医師、医療スタッフの方を対象に、糖尿病の最新の診断・治療についての研修講座を下記の日程・要領で行います。ご関心をお持ちの方の多数のご参加をお待ち申し上げます。

第 37 回 [東京会場]

開催日時：平成 28 年 2 月 14 日(日) 10 時～15 時20 分

会場：国立国際医療研究センター 研修棟 5 階 大会議室

(〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1)

定員：150 名

申込締め切り：平成 28 年 2 月 11 日(木)

参加費：3000 円(テキスト代を含む)

- ◆日本糖尿病療養指導士認定機構<第 2 群>「認定更新のための研修会」として 1 単位申請中
- ◆日本糖尿病学会専門医更新 2 単位申請中
- ◆日本糖尿病協会療養指導医取得のための講習会として認定申請中
- ◆単位取得可能な地域糖尿病療養指導士
現在申請中

申込、その他に関するお願い

<申込方法>

- オンライン
糖尿病ネットワークのオンライン申込ページ(下記 URL)よりお申込みいただけます。
(<http://www.dm-net.co.jp/event/ncgm-dm.html>)
- e-mail
「研修会参加希望」とのタイトルにて、希望会場、施設名、氏名を明記の上、事務局 e-mail(dm-inf1@hosp.ncgm.go.jp)宛にお送りください。参加申込書を数日以内に返信いたします。
FAX 用参加申込書を e-mail 添付にてお送り頂いてもお申込みいただけます。
(なお、携帯電話からのお申し込みはご遠慮ください)
- FAX
FAX 用参加申込書をダウンロードしていただき、事務局 FAX(03-3202-9906)までお送りください。下記 URL よりダウンロードすることができます。
(<http://www.dm-net.co.jp/event/ncgm-dm.pdf>)

※参加登録が完了致しましたら、こちらから登録完了のご連絡(登録番号、参加予約票)をさせて頂いております。申込後、1週間以上こちらより連絡がない場合は、お申込みができていない可能性がございますので、お手数ではございますが、事務局までご連絡ください。

※お電話でのお申込みは受付ておりませんのでご了承ください。

<ご注意とお願い>

- 申込締め切り日前に定員に達している場合がございますので予めご了承ください。締め切り日以降の事前受付は原則致しませんが、定員に余裕があれば当日会場にて受付致します。
- 開場時間は開演1時間前となります。到着されましたらまずは受付をお済ませください。(参加予約票のご提示をお願い致します)
- 参加費(テキスト代含む)は3,000円です。できるだけ釣り銭のいらぬようご協力をお願い致します。
- 講師、講義題目は都合により変更になる場合がございますので、予めご了承ください。
- 東京会場へのお車でのご来場はご遠慮ください。
- 昼食は各自でお取りいただくようお願い致します。
- 喫煙、ご飲食は指定された場所以外ではご遠慮ください。
- 会場に冷暖房はございますが、温度調節が可能な服装でお越しいただきますようお願い致します。
- やむを得ずキャンセルされる場合は、開催日前々日(金曜日)16:00までに dm-inf1@hosp.ncgm.go.jp 宛にご連絡ください。定員に達した際には参加をお断りさせて頂いている方もいらっしゃいます。無断でキャンセルされますと次回からの参加をお断りする場合がございますのでご了承ください。

皆様のご理解とご協力をお願い致します。

その他、ご不明の点等ございましたら直接事務局までご連絡ください。

講師は都合により変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

第 37 回 [東京会場]

10 時～開会の挨拶

10 時 05 分～

「糖尿病療養指導の課題」

山王病院 内科 岸本 美也子

糖尿病診療において適切な療養指導を行い、常に患者の治療アドヒアランスを良好に保つのは容易ではありません。例えば医療従事者側の問題として、生活指導のエキスパートであるはずの糖尿病療養指導士(CDE)においても、自分たちが十分満足する指導ができていると感じているものの割合は多くはありません。また患者側の問題も様々であり、個々の患者に最適な医療を提供し療養指導を行うためには、医療従事者側の知識と経験に基づいた問題解決のための持ち札の多さが要求されます。本稿では実際の症例を提示し、糖尿病療養指導の課題とその対策を考えていきたいと思えます。

「糖尿病と服薬指導」

国立国際医療研究センター病院 薬剤部 金澤 尚子

糖尿病治療では、患者自身が治療の必要性を理解し自己管理を行っていくことが重要です。服薬指導では、薬剤の説明のみならず、患者の治療への取り組みや意識を併せて確認し、アドヒアランス低下の要因がある場合にはスタッフ間で共有し解決策を講じます。チーム医療の一環として他職種と連携を図りながら行っている服薬指導の紹介や、近年種類の増えている糖尿病治療薬について紹介いたします。

11 時 40 分～昼食休憩

12 時 40 分～

「糖尿病患者の口腔の健康管理」

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 歯周病学分野 和泉 雄一

糖尿病患者では感染症である歯周病が重症化し、治癒しにくいといわれています。一方、歯周病は軽微な持続的慢性炎症としてインスリン抵抗性を引き起こすため、糖尿病の重要なリスク因子と考えられています。最近、重度歯周病に罹患している2型糖尿病患者では、歯周治療により血糖コントロールが改善すると報告されています。全身疾患の治療に口腔の健康管理の重要性が強調されている昨今、糖尿病患者の口腔ケアをご紹介します。

「糖尿病と妊娠」

東京都済生会中央病院 糖尿病・内分泌内科 穴澤 園子

妊婦の糖代謝異常には妊娠によって引き起こされる程度の軽い「妊娠糖尿病」と既に糖尿病がある「糖尿病合併妊娠」とがある。妊娠糖尿病母体は後年 2 型糖尿病を発症する可能性が高く産後のフォローアップが重要である。妊娠は糖尿病を悪化させる。母体の高血糖は母児に様々な合併症を生じるので血糖を出来る限り正常にコントロールしてこれを回避しなければならない。児の健全な発育に必要な栄養を供給しつつ、様々なテクノロジーを駆使して血糖正常化に務める。

14 時 15 分～休憩

14 時 25 分～

「糖尿病の診断・治療の動向と将来像」

埼玉医科大学 内分泌内科・糖尿病内科 野田 光彦

平成 22 年に糖尿病の診断基準が改訂され、また、平成 24 年 4 月からは NGSP 値による HbA1c の表記が導入され、平成 26 年 4 月 1 日以降、わが国で使用される HbA1c の表記はすべて NGSP 値のみとなりました。

本講ではこのような糖尿病診療の基本となる事項についてお伝えするとともに、日進月歩ともいべき糖尿病診療の進展を踏まえつつ、GLP-1 受容体作動薬、DPP-4 阻害薬、SGLT2 阻害薬など、最近の新しい薬剤の動向を具体的に解説し、糖尿病治療の新機軸をサマライズいたします。さらに、糖尿病の先端的医療について、時間の許す限り考察する予定です。

15 時 10 分～閉会の挨拶

15 時 20 分 終了

お問合せ先:

国立国際医療研究センター

糖尿病情報センター 「糖尿病 医師・医療スタッフ向け 研修講座」事務局

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1 e-mail: dm-inf1@hosp.ncgm.go.jp

TEL: 03-3202-7181 (内線: 2161) TEL: 03-5273-6955 (ダイヤルイン) FAX: 03-3202-9906